



脱ペーパードライバーと安全運転

皆さんは運転免許証を持っていますか？運転はしなくても免許だけ持っている方も多いですね。一度ペーパードライバーになってしまうと、いざ運転をしたいと思ってもなかなか出来ないものです。最近、車による悲惨な事故のニュースも多々あり、便利と思っても怖くて運転できないのが現状ですね。私もそのような状態の一人でしたが、ひょんな事から車の運転をすることになり、ドキドキの運転生活を送るようになりました。運転する以上、車による事故は決して他人事とではないのです。便利だけど「車は時として恐ろしい凶器にもなる」ということを、常に肝に銘じていきたいと思います。



私の脱ペーパーで役立ったのが、出張ドライバー教習でした。自動車学校でもペーパードライバー教習はあるのですが、自分の車での運転はできないし(学校によっては可能)やはり車道に出てこそその練習かなと、それでも色々考えた末に、簡易の補助ブレーキをその場ですぐに設置してくれて自分の車で、実地の教習を受けることのできる出張ドライバー教習を選びました。いざ、約10年ぶりに車を運転するという場面になって、いくら補助ブレーキがついていても怖くて怖くてしょうがありませんでした。流石にいきなり車道に出るのは危険なので、近くの大きな公園の広い駐車場で、基本のシートベルトの位置、ミラーの角度、ド

ライビングポジションの確認などから始まり、ブレーキアクセル、ハンドルを回すタイミングなど、遠の昔に飛んで行ってしまった運転の知識を、ぐるぐるとゆっくり駐車場内を回りながら体感し復習しました。不思議と数十分の簡単な練習だけでも何となくの勘は取り戻すらしく、少し慣れた頃に、「さあ車道に出ようか！」と教官のお言葉。そこからは、当たり前ですが駐車場を出たらすぐ一般の車が行きかう公道です。正直、こんな状態の私が車道に出てしまっただけで良いのか！？と言う気持ちしかありませんでしたが、いざ公道に出ても教官指導の下、直進に右左折、何とか無事に教習時間内を運転し続けることができました。この教習をきっかけに、友人に同乗してもらい何度も何度も何度も練習をして、今では決まった場所であれば一人でも運転出来るようになり、「人間、やればできる」、を文字通り体感しました。

最後に、冒頭にも書きましたが、とても悲惨な事故が相次ぐ今、さらに気を引き締めて車の運転をして行く所存です！

あなたはマークの正式名称を知っていますか？

若葉マーク

高齢者マーク

「初心運転者標識」



「高齢運転者標識」